

【ガラテヤ人への手紙 1章】

「生まれたときから私を選び分け、恵みをもって召してくださった方」
(ガラテヤ1:15)

今問題の起こっているシリアのダマスカス(ダマスコ)で、パウロは生ける神と出会って以後、パウロの人生は全く変わりました。パウロ自身はユダヤ教の律法に通じ、厳格に守ったことでクリスチャンを迫害し、殺害していましたが、ダマスコ途上で、生ける神と出会い、「なぜ私を迫害するのか？」とその罪を指摘され、倒され、盲目にされ、今までの信仰の間違いが正され、神の愛と赦しを体験しました。23節「以前私たちを迫害した者が、そのとき滅ぼそうとした信仰を今は宣べ伝えている」とあるように、異邦人に福音を伝える為に、神様は生まれた時からパウロを選び分け、このような特別の経験を通して恵みを持って召してくださったのです。

「福音」という言葉が7回も出てきます。「福音」とは何でしょうか？それはIコリント15:1～「**キリストは**、聖書の示すとおりに、**私たちの罪のために死なれたこと**、また、**葬られたこと**、また、**～三日目によみがえられたこと**、また、ケパに現れ、それから**十二弟子に現れたこと**です。その後、キリストは**五百人以上の兄弟たちに同時に現れました**。～その後、キリストはヤコブに現れ、それから使徒たち全部に現れました。そして、最後に、月足らずで生まれた者と同様な**私(パウロ)にも、現れてくださいました**。」ということです。(礼拝の中で使徒信条を告白しますが、これがその内容です。)もしキリストがよみがえられなかったのなら、信仰は虚しく、あなたがたは今なお、自分の罪の中にいるのです。この福音に私たちもまたあずかり、生けるキリストをのべ伝える者とされました。本当に素晴らしいことです！！

ところが、パウロの語っている福音ではなく、ほかの福音(これは福音ではないのですが)にガラテヤの教会の人が移っていくことに対して、「天国への道は一つだけ」だと叱責しています。ガラテヤ教会の人の中には、パウロの使徒職に対して攻撃するものが出て、これに対して、自分が使徒として立っているのは、人間から出たものではなく、イエス・キリストから出たものであることをはっきり示しているのがこの手紙です。(ローマ人への手紙と同じように、このガラテヤ人への手紙は、信仰義認を強調しています。)人に取り入ろうとしたり、人の歓心を買おうとするならキリストのしもべとは言えません。伝道する時に気をつけなければならないことです。真理の言葉を語り、イエス・キリストの証しをすることができますように！

神の言葉とイエス・キリストの証しとのゆえにヨハネはパトモス島に囚人として送られ、そこで天からの啓示を受けて黙示録を書きました。

昨年私たち夫婦もここに行くことができました。以前から行くように御言葉が与えられ、祈っていました。夫が自分は行ったから今度は私に行くように勧めてくれましたが、私は夫婦2人でいけるならいいと思っていました。(それは無理かな？と実は思っていたのです。)しかし思いもしない未払いの年金を5年分さかのぼって送られてきたことによって、2人分の費用が与えられ行くことができました。そこで祈ったこと、示されたことは、いま一つ一つひらかれて来ています。神はご自分のご計画を進めるために、一人一人に言葉を与えられ、語られた御言葉を必ず成し遂げられるお方です。ハレルヤ！



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.7.15 No.692

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。

あなたも私も感謝の戦士
賛美隊の欠けてはならない一員です♪



今日チームがここで礼拝するパトモス島です。

来年はあなたも・・・

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。